

第三期「塵芥文書」刊行にあたって

正倉院文書を精細な写真版により紹介しようとする、いわゆる影印本は昭和六十三年五月の第一冊にはじまり、第一期全八冊として正集・続修を、その後、平成七年からは第二期全六冊として続修後集・続修別集を刊行致しました。この度、第三期として塵芥文書を全三冊に分けて刊行の運びとなりました。ここに至ることができましたことは、学界その他関係各方面からこの影印本による正倉院文書公刊の意義が認められ評価されてきたからに他ならないと、感謝致しますとともに、少なからず自負しているところでございます。

思い起こしますと、六百数十巻に及ぶ正倉院文書が実に四十年の歳月をかけて『大日本古文书』として刊行され、はじめて一般の研究利用ができるようになりました。ただ、これらは編年的に整理されており、正倉院文書の現状そのままを知るにはマイクロフィルムを利用するしかありませんが、取り扱いに便ではなく、今日から見ますと画質も満足いくものではありません。一方、コロタイプ複製が少しずつ進められていますが、完結には長年月を要し、経費もかかります。現実的にはこの影印集を利用するのが、現状を知る最良の方法だと言えるでしょう。こうした二次資料の活用は、ひいては貴重な文化財の保存にもつながります。

イメージとしての文書の重要性は近年とみに着目されているところですが、書かれている内容もちろんのこと、作成した場の雰囲気や書き手の性格などまでも伝わってくるかのようです。大仏開眼会に列席した供奉僧の名簿が見いだされたことは記憶に新しいですが、まだまだ未知の史実が埋もれているに違いありません。どのような宝を掘り出していただけのことか、大いに楽しみにしております。

平成十六年六月



宮内庁正倉院事務所
所長 三宅久雄

正倉院古文書影印集成

第三期 塵芥文書 全三冊

ご購入の案内

- A4判横本／上製クロス装／貼函入／特選高級中性紙使用
- 平均三〇〇頁予定 ● 高精細カラー口絵収録
- 平均予価三三、一〇〇円(平均本体予価三二、〇〇〇円+税五%)
- ご注文は最寄りの書店、または同封葉書にて小社へお申し込みください。
- 本集は分売しません。第三期全三冊セットで予約ください。
- 既刊第一期を定期で購読いただいたお客様には、第二期完結時ご案内の通り、第三期についても同様の方法を継続配本させていただきます。
- 平均予価は04年7月現在の設定です。諸般の状況変化により、変更する場合がありますので、予めご了承下さいますようお願い申し上げます。

【全三冊 配本予定】 *年一回配本

- 第1回配本(04年8月予定)
第十五冊 塵芥文書表巻一〜二〇
- 第2回配本(05年6月予定)
第十六冊 塵芥文書表巻二〜三九
- 第3回配本(06年6月予定)
第十七冊 塵芥文書裏巻一〜三九・雑張・付蠟燭文書

04年8月末刊行開始 定期予約募集中!



ISBN4-8406-2091-1 C3321

第一期 正集・続修 全八冊

正集四十五巻・続修五十巻は、戸籍・計帳・正税帳等の公文書、暦や道鏡・良弁など著名人の筆蹟、多種多様な私文書等、古代八世紀の社会・天平文化の諸相を示す代表的な古文書を選りすぐって成巻。

- 【第一期全八冊編成】
- 第一冊 正集表巻一〜二二
 - 第二冊 正集裏巻一〜二二
 - 第三冊 正集裏巻二〜四二
 - 第四冊 正集裏巻三〜四二
 - 第五冊 続修表巻一〜二五
 - 第六冊 続修表巻二六〜五〇
 - 第七冊 続修裏巻一〜二五
 - 第八冊 続修裏巻二六〜五〇
- 平均三二五頁・セット定価一六八、〇〇〇円
(本体一六〇、〇〇〇円+税五%)

第二期 続修後集 全六冊

続修後集四十三巻・続修別集五十巻は、東大寺・石山寺といった官の大寺の造営に関する資料、写経所文書とそこに働く写経生の生活感の滲んだ種々の文書、絵画資料、書籍目録、万葉仮名文書など多岐にわたり、バラエティーに富んだ集。

- 【第二期全六冊編成】
- 第九冊 続修後集表巻一〜三三
 - 第十冊 続修後集表巻三〜四三
 - 第十一冊 続修後集裏巻一〜四三
 - 第十二冊 続修別集表巻一〜五〇
 - 第十三冊 続修別集表巻二〜五〇
 - 第十四冊 続修別集裏巻一〜五〇
- 平均三〇六頁・セット定価二二一、八五〇円
(本体二一七、〇〇〇円+税五%)



ISBN4-8406-2092-X C3321

【内容見本に掲載の正倉院宝物図版】 金銀絵漆合子／黄金瑠璃鋼青十二稜鏡／紫檀木面槽琵琶／髹龍背八角鏡／紅牙撥簾尺／筆／色麻紙

<p>発行</p> <p>八木書店 出版部</p> <p>Yagi Bookstore Ltd. Publishing Dept.</p> <p>〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 ●TEL: 03-3291-2961【営業】 03-3291-2969【編集】 ●FAX: 03-3291-2962 ●E-mail: pub@books-yagi.co.jp ●Web: http://www.books-yagi.co.jp/pub</p>	<p>取扱店</p>
--	------------

古代の文化・歴史を座右に置く

宮内庁正倉院事務所編

正倉院古文書影印集成



内容見本

八木書店

第三期 塵芥文書 全三冊

SHŌSŌIN KOMONJO EIINSHŪSEI
JINKAIMONJO

A facsimile Series of ancient documents
in the Shōsōin Treasure House.

SHŌSŌIN KOMONJO written in the 8th century
is a fundamental document group
for ancient study of Japan.

正倉院古文書のさまざま

じんかいもんじょ
塵芥文書

明治期の整理成巻事業の一環として、明治十年に東京へ運ばれ内務省で展開・修理・成巻されたものが「正倉院塵芥文書」と題された一群である。先行する整理に漏れ宝庫に残っていた損傷の激しい文書が多く、三十九軸の卷子と小断片を台紙貼りしてアルバム風に仕立てた「雑張」三冊に整理され、固まって展開不可能な「蠟燭文書」一袋が附属する。内容は多岐に亘るが、断片や裏打の下に隠れた文字など「大日本古文書」に未収、また順序混乱のまま翻刻されているものも多い。この度の精緻な影印版本と詳細な原本調査事項を記載した解説の公開により、新たな研究の深化進展が期待される。

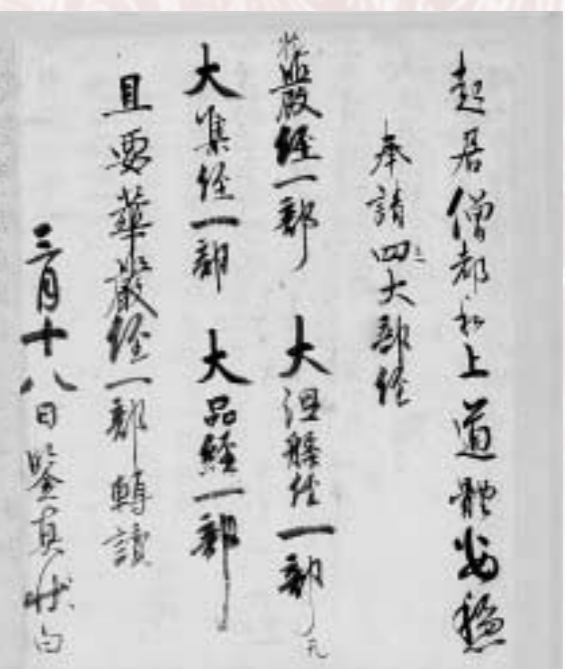
経師等手実 天平十三年

〔塵芥文書 巻4表〕



鑑真奉請経巻状 三月十八日

〔塵芥文書 巻35裏〕



苦難のすえ天平勝宝五年(七五三)に来日を果たした唐僧鑑真の書状。内容は初代東大寺別当の良弁に經典の借用を申しこんだもので、当時の日中兩國を代表する高僧どうしの交流が偲ばれる。鑑真は幾度かの渡航失敗により視力を失ったと伝えられるので、その筆蹟が自筆かどうかは謎である。



下総国倉麻郡意布郷戸籍断簡 養老五年

〔塵芥文書 巻26表〕



現在の茨城県相馬にあたる下総国倉麻郡の養老五年(七二二)戸籍断簡。近年の調査の成果として、断片の形状、国印・界線等を判断材料に各々の接合を確認することで、掲出図版の五断片から戸籍十四行分を復元し、続修古文書所収断片とのつながりも判明した。戸籍の復元によって、二次利用の裏面・写経所文書も復元することができ、正倉院古文書の顕著な特徴と面白さを示す。

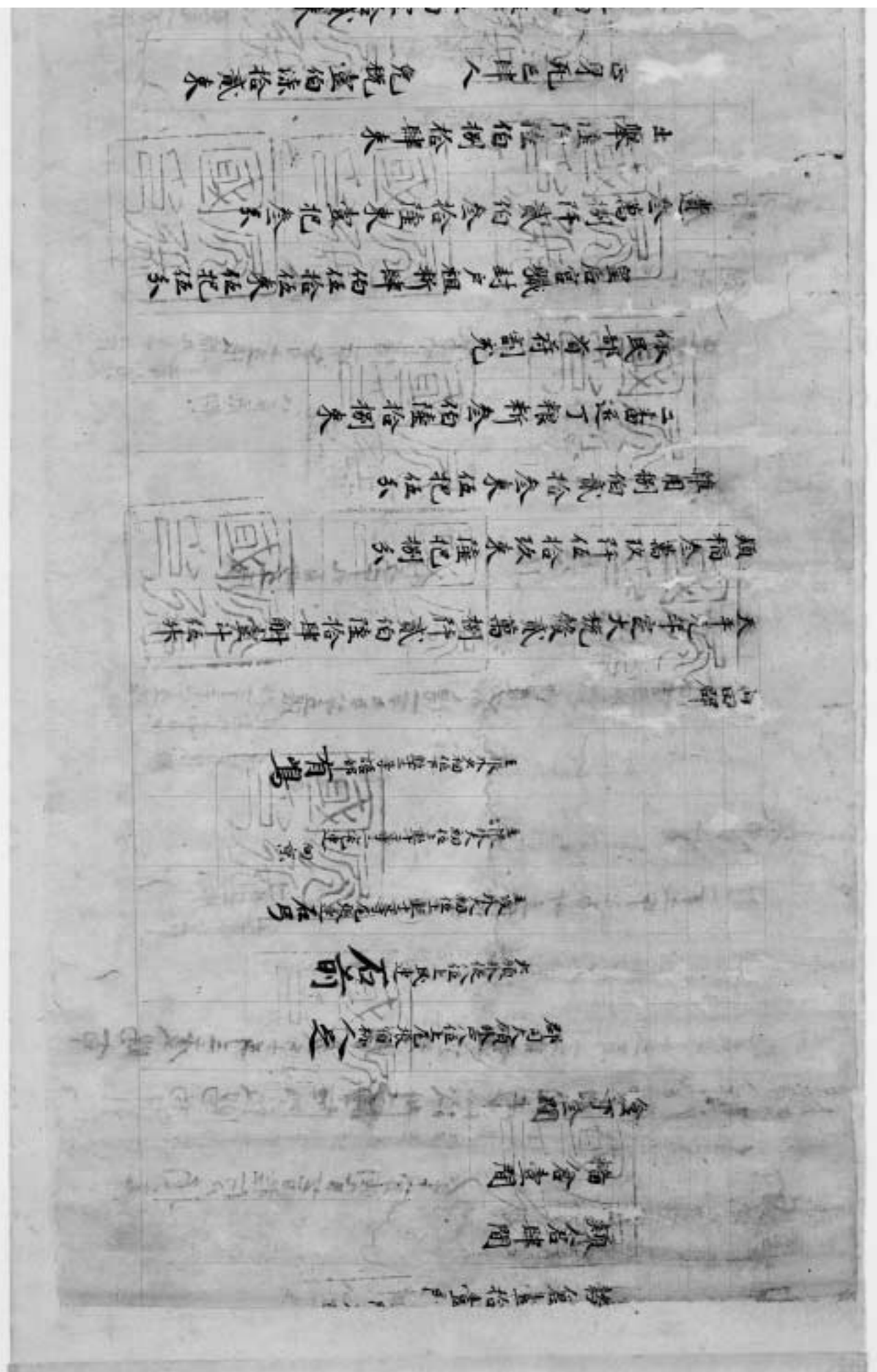


断片を台紙に貼り込んで整理した雑張三冊は、第三十九巻「蠟燭文書」とともに、天平勝宝四年(七五二)に行われた東大寺大仏の開眼会に参集した僧の名簿であることが近年の調査で判明した。掲出の図版には、その決め手となった僧名、菩提・道璿のうち後者の記された断片が見られる。これらの断片の復元も進められ成果を上げている。

東大寺盧舎那仏開眼会供奉僧名帳

〔塵芥文書 雑張第1冊〕

本文体裁見本 (A4判横本・原寸)



第七巻 1〜2尾張國天平二年収納大稅帳

編集方針

- 第三期として、塵芥文書三十九巻三冊(付蠟燭文書)を原本の順に従って編成、オフセット印刷により精確に影印し、全三冊に収める。
- 宮内庁正倉院事務所が責任編集を行い、各冊末には、緻密な原本調査に基づく詳細な書誌データを盛り込んだ解説を付す。
- 影印本文の縮小率は一巻の中で統一し、各巻の実寸を解説に明示することにより、断簡相互の比較を可能にした。また文書の余白や四周などの状態を窺い得るようトリミングにも十分留意した。

●本文体裁見本のごとく、頭注に紙数を、脚注に「大日本古文書」の巻・頁数を表示した。これにより表・裏の対照、「大日本古文書」との照合を容易にした。

解説JISN

- 影印本文の理解を助けるための各種データを簡潔にまとめた。個々の文書の内容あるいは接続の問題にはふれないこととして、現状の客観的な記述にとめた。
- 解説の記載事項は概ね以下の通りとした。

- 各巻総記 種別・巻次、表紙、外題、本紙の総張数、軸、影印本文の縮小倍率等。
- 各紙記載 紙数、文書名、年紀を掲げ、以下の項目について記す。

- 史料 「正倉院文書目録」の記載
- 法量 一紙ごとの最大長(縦×横)
- 紙端 右・左の現状、周辺に関する記述
- 界線 墨界・押界・折界の区別、規格など
- 本文 行数、原本における文字訂正箇所等
- 印 種類・印文・総数・法量など
- その他 特筆すべき、その他の事項

印刷・造本

- 刊行にあたり、最新のカラーキャナーを用いて、直接フローニー判カラーリバーサルフィルムより単色網撮り製版、原本の様相を精緻に再現した。
- 製版については、墨の濃淡・朱・澁きむら等の識別、文字と印刷の重なる箇所等の判読、料紙の質感、界線や紙継ぎの形態等々、細部にわたる忠実な再現に努め良好な結果を得た。
- オフセット印刷に際しては、各台(8頁毎)刷り出しの版面点検、印刷時の抜き取り検査等を厳格に行い、精巧な仕上がりを期した。
- 製版・印刷は「天理図書館善本叢書」、本集成第一・二期、「尊経閣善本影印集成」等で技術的な研鑽を重ね、優秀な実績を上げた天理時報社が担当。

高精細カラー口絵

- 原本の朱筆がある箇所等を高精細カラー印刷の口絵として適宜収載し、原本の佛を伝える一助とした。

影印に最適な特選用紙

- オフセット印刷に適した平滑度の高い特選中性書籍用紙を使用し、長い保存に耐え得るように配慮した。また、色は目に疲労を感じさせることのない薄クリーム色にした。

堅牢な製本

- 糸かがり、上質クロス装とし、堅牢にして日常の連用と長い保存に耐える製本とした。

